

記載例

## ばい煙発生施設設置（使用、変更）届出書

宇都宮市長 佐藤 栄一 宛

〇〇年 〇〇月 〇〇日

該当する事項以外を抹消

必ず記載すること

届出者 氏名又は名称及び住所並びに  
法人にあってはその代表者の氏名  
(電話番号) 〇〇市〇〇町〇〇-〇〇  
〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇  
〇〇会社 代表取締役 〇 〇 〇 〇 印

社印及び代表者印

大気汚染防止法第6条第1項（~~第7条第1項~~、第8条第1項）の規定により、ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

ばい煙発生装置を変更する工場名等を記入する


工場又は事業場の名称	〇〇会社〇〇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	〇〇市〇〇町〇〇-〇〇 〒〇〇〇-〇〇〇〇	※受理年月日	年 月 日
ばい煙発生施設の種類	1 ボイラー	※施設番号	
ばい煙発生施設の構造	別紙1のとおり。	※審査結果	
ばい煙発生施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※備考	
ばい煙の処理の方法	別紙3のとおり。		

- 備考
1. ばい煙発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1に掲げる項番号及び名称を記載すること。
  2. ※印の欄には記載しないこと。
  3. 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  4. 届出書及び別紙の用紙の大きさは、函面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
  5. 氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあってはその代表者)が署名することができる。

## ばい煙発生施設の構造

(変更前)

(変更後)

工場又は事業場における施設番号		1号ボイラー	1号ボイラー
名称及び型式		〇〇〇ボイラー〇〇型	〇〇〇ボイラー〇〇型
設置年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
着手予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
規          模	伝熱面積 (m <sup>2</sup> )	〇〇.〇m <sup>2</sup>	〇〇.〇m <sup>2</sup>
	燃料の燃焼能力(重油換算 l/h)	〇〇l/h	〇〇l/h
	原料の処理能力 (t/h)	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;">           燃焼能力の最大値を記入する。            液体燃料は 10 l/h → 10 l/h            固体燃料は 16 kg/h → 10 l/h            気体燃料は 16m<sup>3</sup>/h → 10 l/h         </div> 	
	火格子面積又は羽口面断面積 (m <sup>2</sup> )		
	変圧器の定格容量(KVA)		
	触媒に付着する炭素の燃焼能力(kg/h)		
	焼却能力 (kg/h)		
	乾燥施設の容量(m <sup>3</sup> )		
	電流量 (KA)		
	ポンプの動力(KW)		
合成・漂白・濃縮能力(kg/h)			

- 備考
- ① 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
  - ② 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
  3. ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本工業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

## ばい煙発生施設の使用の方法

(変更前)

(変更後)

工場又は事業場における施設番号		1号ボイラー			1号ボイラー		
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	〇〇時～〇〇時 〇時間/回 〇回/日 〇日/月			〇〇時～〇〇時 〇時間/回 〇回/日 〇日/月		
	季節変動	冬期暖房用(11月～3月)			なし		
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類						
	使用割合						
	原材料中の成分割合(%)	いおう分 カドミウム分	鉛分 弗素分		いおう分 カドミウム分	鉛分 弗素分	
	1日の使用量						
燃料又は電力	種類	A重油			A重油		
	燃料中の成分割合(%)	灰分 〇.〇	いおう分 〇.〇	窒素分 〇.〇	灰分 〇.〇	いおう分 〇.〇	窒素分 〇.〇
	発熱量	〇〇kcal/kg			〇〇kcal/kg		
	通常の使用量(l/h)	〇〇l/h			〇〇l/h		
	混焼割合	専燃			専燃		
排出ガス量(Nm <sup>3</sup> /h)	湿り	最大 〇〇	通常 〇〇		最大 〇〇	通常 〇〇	
	乾き	最大 〇〇	通常 〇〇		最大 〇〇	通常 〇〇	
排出ガス温度(℃)		〇〇℃			〇〇℃		
排出ガス中の酸素濃度(%)		最大 〇〇	通常 〇〇		最大 〇〇	通常 〇〇	
ばい煙の濃度	ばいじん(g/Nm <sup>3</sup> )	最大 〇〇	通常 〇〇		最大 〇〇	通常 〇〇	
	いおう酸化物(容量比PPM)	最大 〇〇	通常 〇〇		最大 〇〇	通常 〇〇	
	カドミウム及びその化合物(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常		最大	通常	
	塩素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常		最大	通常	
	塩化水素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常		最大	通常	
	弗素、弗化水素及び、弗化珪素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常		最大	通常	
	鉛及びその化合物(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常		最大	通常	
窒素酸化物(容量比PPM)	最大 〇〇	通常 〇〇		最大 〇〇	通常 〇〇		
ばい煙量	いおう酸化物(Nm <sup>3</sup> /h)	最大 〇〇	通常 〇〇		最大 〇〇	通常 〇〇	
参考事項	1号ボイラー：K=〇〇.〇						

- 備考 1. 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
2. ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
3. ばい煙の濃度は、ばい煙処理設備がある場合は、処理後の濃度とすること。
4. 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のため採っている方法を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用(専ら非常時において用いられるものをいう。)の別を明らかにすること。

### ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号				(変更前) 1号煙突	(変更後) 1号煙突
処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号				1号ボイラー	1号ボイラー
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式				単独煙突	単独煙突
設置年月日				〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
着手予定年月日				〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日				〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日
処理能力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大		〇〇	〇〇
		通常		〇〇	〇〇
	排出ガス温度 (°C)	処理前		〇〇	〇〇
		処理後		〇〇	〇〇
	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前		〇〇	〇〇
		処理後		〇〇	〇〇
	いおう酸化物 (容量比ppm)	処理前		〇〇	〇〇
		処理後		〇〇	〇〇
	カドミウム及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前			
		処理後			
	塩素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前			
		処理後			
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前			
		処理後			
	弗素・弗化水素及び弗化珪素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前			
		処理後			
	鉛及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前			
		処理後			
	窒素酸化物 (容量比ppm)	処理前		〇〇	〇〇
		処理後		〇〇	〇〇
ばい煙量	いおう酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	処理前	〇〇	〇〇
			処理後	〇〇	〇〇
		通常	処理前	〇〇	〇〇
			処理後	〇〇	〇〇
捕集効率 (%)	ばいじん			〇〇	〇〇
	いおう酸化物			〇〇	〇〇
	カドミウム及びその化合物				
	塩素				
	塩化水素				
	弗素、弗化水素及び弗化珪素				
	鉛及びその化合物				
	窒素酸化物				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	時~時 時間/回 回/日 日/月		〇〇時~〇〇時 〇時間/回 〇回/日 〇日/月	
	季節変動			なし	
排出口の実高さ H <sub>o</sub> (m)				〇〇m <sup>2</sup> ×〇〇Φ	〇〇m <sup>2</sup> ×〇〇Φ
補正された排出口の高さ H <sub>e</sub> (m)				〇〇m	〇〇m
排出速度 (m/s)				〇〇m/S	〇〇m/S

笠付きの場合はH<sub>o</sub>と同じ

- 備考 1. 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
2. ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
3. 補正された排出口の高さH<sub>e</sub>は、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算式により算定すること。
4. ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

### 参 考 事 項

- 記載上の注意 1. 届出等に係る工場・事業場の状況等について記載又は添付するものとし、番号は該当するものを○で囲むこと。  
 2. ※印の欄は、許可工場等の許可申請書に添付するときのみ、記載すること。  
 3. 届出書又は許可申請書及びその別紙に記載又は添付している事項については、あらかじめ記載又は添付を必要としない。

届出等担当者 (連絡先)	氏名 ○ ○ ○ ○	所属 ○ ○ ○ 部 部課名 ○ ○ ○ 課	電話 ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○ F A X ○ ○ ○ - ○ ○ ○ ○
公害防止責任者	職・氏名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
公害防止管理者	選任 ① 要 2 不要	選任要 のとき	[ 職・氏名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 試験又は 資格の区分 大気 ○ 種 ]
従業員数	○ ○ 人	主 要 部 品 名 ○ ○ ○ ○	日本標準産業分類の 小分類番号・項目 ○ ○ ○ ○
特定施設メーカー名	○ ○ ○ ○ 会 社		処理施設メーカー名 ○ ○ ○ 会 社
※ 特定施設を 設置する土地	用途 地域 ○ ○ ○ ○	敷地 (既存のときの面積 ○ ○ ○ m <sup>2</sup> ) 面積等 (新規・増加のとき面積 m <sup>2</sup> 登記地目)	
※ 特定施設を 設置する建物	新築 (床面積 m <sup>2</sup> )	増改築 (床面積 m <sup>2</sup> )	既存 [ ○ 年 ○ 月 ○ 日 ]
※ 工場・事業場 当初設置年月日	○ 年 ○ 月 ○ 日	水 質 関 係 特 定 施 設 当 初 設 置 年 月 日	年 月 日
※ 今回届出等 関係のある法令等	① 大気汚染防止法 2 水質汚濁防止法 3 騒音規制法 4 振動規制法 5 悪臭防止法 6 栃木県公害防止条例 7 農地法 8 農振法	9 森林法 10 都市計画法 11 工場立地法 12 新規立地事業場公害 防止事前指導要綱 13 河川法 14 建築基準法 15 土地改良法	16 廃棄物処理法 17 土砂条例 18 下水道法 19 消防法・火災予防条例 20 高圧ガス取締法 21 薬事法 22 毒物及び劇物取締法 23 その他 ( )
排 水 先	直接排水先 ① 公共下水道 4 河 川 2 側 溝 5 そ の 他 3 用 水 路 ( )	直接排水先が2～5のとき (水質関係の特定施設に係る 届出書又は許可申請書に添付するときのみ記載) 流入用水路名 ( ) 流入用河川名 ( )	
公 害 防 止 協 定	締結 ① 有 2 無	締 結 有 の 時 刻	[ 今回の特定施設等の ① 要 届出に関する事前協議 2 不要 ; 事前協議 ① 協議済 要のとき 2 協議予定 ]
周辺における公 害苦情等の問題	現在解決して いない苦情 ① 有 ② 無	有のときは その区分	1 ばい煙 3 汚水 5 騒音 7 その他 ( ) 2 粉じん 4 悪臭 6 振動

その他、別紙として次の書類を添付する。

- 工場・事業場の平面図 (建物、施設等の配置状況を記載し、今回の届出施設を朱塗すること。なお、汚水に関する届出等については、排水水の汚染状態を測定するための採水場所を記載、朱塗すること。)
- 工場・事業場の案内図 (工場・事業場に至る経路を記載すること。)
- ばい煙に関する届出書等については煙突立面図 (主要寸法及び測定口の位置を記載すること。) 及び使用燃料の分析表